

平成29年度の目玉事業を一挙に紹介

Atsugi

Public Relations Paper Atsugi City

広報あつぎ 

特別号

厚木市 2017

事業と予算のあらまし

思いをつなぐ。



ニュージーランド代表選手と交流する子どもたち

ネットでも配信中

[あつぎの元気進取予算](#)

[検索](#)

■ 平成29年度 施政方針要約 ■

将来を見据えたまちづくりを さらに一步前へ

厚木市長 小林 常良

市議会2月定例会の初日、小林市長は施政方針演説で平成29年度の市政運営の考えや重点的に取り組む施策を表明しました。議会では総額1447億4071万4千円の「あつぎの元気進取予算」が成立。一步先を見据え、ぶれることのない視点で市政運営に取り組んでいきます。



相川保育所の児童と一緒に

市は、先人のたゆまぬ努力と挑戦により、1964年から53年間、国からの財政に依存しない普通交付税不交付団体を維持しています。これはひとえに、地に足を付けた「自主・自立」の市政運営の成果であり、全国に誇れるまちと言えます。

また、市には、大山や相模川をはじめとした豊かな自然環境や温泉といった観光資源があるほか、新東名高速道路や厚木秦野道路のインターチェンジの開設が予定されるなど、将来に向けて大きく発展する可能性を秘めています。

しかし、大地震や集中豪雨などの自然災害に対する備え、団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題、さらには、少子高齢化の進展による人口減少など、新たな課題にも取り組んでいく必要があります。

そこで、今年の市政運営のテーマに掲げた言葉は「進取」です。新しい視点からの発想を常に意識し、県央地区をはじめ、全国の自治体をリードするという強い決意を

持って、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいきます。

あつぎの元気進取予算を編成

平成29年度の当初予算は、「都市基盤整備・地域経済の活性化」、「保育所・学童保育待機児童ゼロの実現及び児童・生徒の学力向上を中心とした地方創生」、「地域包括ケア社会の実現」、「安心・安全の推進」、「東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた環境整備の推進」の五つを重点項目に挙げ、「あつぎの元気進取予算」として編成を進めました。一般会計は過去最大となる808億円、特別会計を合わせた総額では1447億円を超える予算規模となっています。

特に、29年度は、基幹病院として整備を進めてきた市立病院をはじめ、保健・医療・福祉の拠点となる保健福祉センターや地域の拠点となる厚木南公民館、さらには、産業系の都市計画事業と

しては半世紀ぶりとなる森の里東土地区画整理事業の先行整備エリアの完成など、将来への備えとして進めてきた事業が、今まさに花開こうとしています。

未来へつなぐ重要な年 「進取」の気概で市政運営を

私は、物事を進めていく上で何よりも大切なのが、人と人との心の和による「絆」を築き、協力することだと考えています。これからも私の信念である「現地対話主義」、「市民協働」の下、人と人との絆を大切に、一方では、進んで新しい物事に取り組んでいく「進取」の気概を持って、市政運営に取り組む覚悟です。

総合計画に掲げる将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」の実現に向け、皆さまのより一層のお力添えを心からお願い申し上げます。

*施政方針の全文は、市ホームページ、市政情報コーナーでご覧になれます。



森の里東土地区画整理事業の工事現場で、進捗状況を確認

CONTENTS

あつぎの 元気進取予算 2017

あつぎの元気進取予算	5
一般会計をチェック	6
五つの重点項目別主要事業	
①都市基盤整備・地域経済活性化の推進	8
《目玉事業》森の里東土地地区画整理関連事業	
②-1 地方創生の推進	10
《目玉事業》空き家等対策推進事業費補助金	
②-2 地方創生の推進～児童・生徒の学力向上～	11
②-3 地方創生の推進～保育所・学童保育待機児童ゼロの実現～	12
《目玉事業》保育士奨学金返済助成金 保育士転入奨励助成金	
③地域包括ケア社会の実現	14
《目玉事業》高齢者タクシー助成事業	
④安心・安全の推進	15
⑤東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた環境整備の推進	16
元気あふれるまちを目指して あつぎ元気プランの着実な推進	17
厚木市まちづくりマップ	18

City Atsugi



あつぎ市民ふれあい都市宣言

厚木市は、先人のたゆまぬ努力により、自然と調和する都市として発展してきました。そして今、少子高齢化の進展や価値観の多様化により、人と人との関係が変化し、市民相互の絆(きずな)がより大切になっています。

私たち一人一人が地域に関心を持ち、日頃から助け合い、市民協働により、身近な課題に取り組むことで、笑顔で暮らせる安心・安全なまちをつくることができます。

家庭や地域で思いやりの心を育み、ふるさと厚木を世代を超えて愛し、誇れるまちとするため、ここに「市民ふれあい都市」を宣言します。

ふれあいの家庭づくり

家族との絆(きずな)を深め、人を思いやる豊かな心を育み、ぬくもりのある「心ふれあう家庭」をつくりましょう。

ふれあいの地域づくり

地域に暮らし、働き、学ぶ中で、地域活動の輪を広げ、みんなで支え合う「心ふれあう地域」をつくりましょう。

ふれあいのまちづくり

人とのつながりの輪を広げ、希望に満ちた、未来に輝く「心ふれあうまち厚木」をつくりましょう。

平成29年度

あつぎの元気進取

予算

本年度の予算は、これまで進めてきたまちづくりをさらに発展させ、次世代への財産をつくる「あつぎの元気進取予算」として編成しました。総額は、1447億4071万4千円で、前年度と比較して55億8133万2千円の減額(3.7%減)となります。

問 財政課 ☎225-2170

予算

総額 **1447億4071万4千円**
(前年度比3.7%減)

一般会計

総額 **808億円**
(前年度比0.3%増)

6・7ページへ

特別会計

総額 **519億5264万3千円**
(前年度比 2.7%増)

公営企業会計

総額 **119億8807万1千円**
(前年度比 37.4%減)

五つの特別会計

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て、目的に応じて使う会計です。

①国民健康保険事業

290億100万円(前年度比0.7%増)

国民健康保険料が主な財源で、被保険者が病気やけがなどをした場合の給付など

②介護保険事業

133億6800万円(前年度比5.4%増)

介護保険料が主な財源で、被保険者が介護サービスを利用した場合の給付など

③公共下水道事業

68億9700万円(前年度比14.0%増)

下水道使用料が主な財源で、下水道の建設や維持管理など

④後期高齢者医療事業

25億800万円(前年度比3.2%増)

後期高齢者への医療給付に必要な保険料の徴収など

⑤公共用地取得事業

1億7864万3千円(前年度比71.2%減)

公共用地の先行取得など

公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営している事業の会計で、市では病院事業が該当します。

病院事業会計

市立病院の運営

●収益的収支(前年度比)

収益 98億3906万円(7.3%増)

費用 110億8193万8千円(5.4%減)

●資本的収支(前年度比)

収入 3億6790万9千円(94.4%減)

支出 9億613万3千円(87.8%減)

※資本的収支の不足額5億3822万4千円は、消費税と地方消費税資本的収支調整額で補てんし、なお不足する額は他会計借入金で措置します。

一般会計をチェック

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。



市民1人当たり換算した金額

※人口22万5524人(平成29年1月1日現在)を基準に算出

歳入

市債

57億1040万円

公共事業の財源とするための長期借入金

2万5321円

譲与税・交付金

59億6500万円

地方譲与税や地方消費税交付金など

2万6449円

国・県支出金

158億1081万円

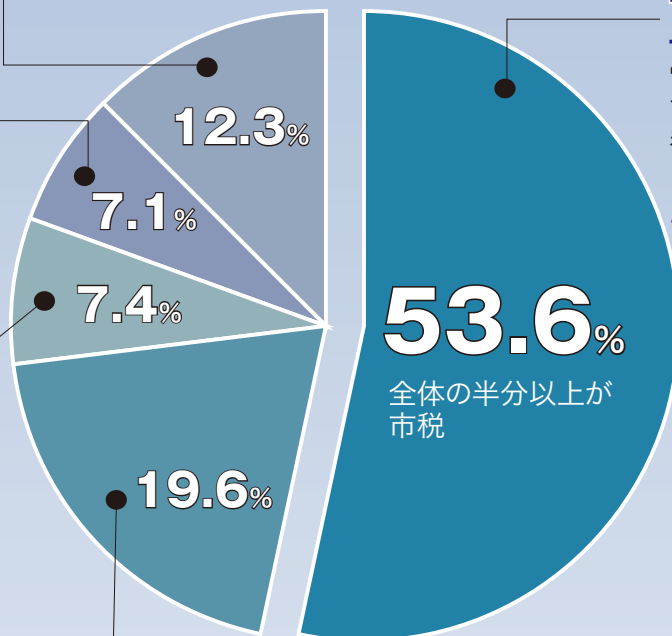
使い道が特定されている国や県からの補助金など

7万107円

その他

100億2271万円 4万4442円

使用料・手数料、諸収入、基金からの繰入金など



市税

432億9108万円

市民税や固定資産税、都市計画税など(内訳は下表参照)

19万1958円

市税収入の内訳

その他

48億1421万円

都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税など

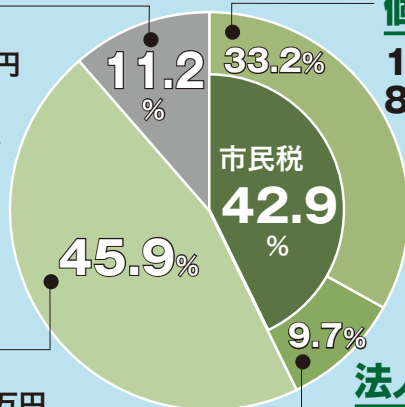
2万1347円

固定資産税

198億7687万円

土地、家屋、償却資産など

8万8136円



個人市民税

143億8900万円

6万3803円

法人市民税

42億1100万円

1万8672円

貯金と借金

貯金(=基金)

年度間の財源調整をする財政調整基金のほか、教育、文化振興・災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

<基金の合計額>

62億3102万円

(29年度末見込み額)

2万7629円

借金(=市債)

学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入)を発行します。

<市債の残高>

505億2787万円

(29年度末見込み額)

22万4047円

歳出

総額 **808** 億円 人 **35万8277** 円

その他

160億3401 万円
総務費、商工費、消防費など
人 **7万1097** 円

公債費

60億4569 万円
借り入れた市債の返済
人 **2万6807** 円

教育費

71億1261 万円
学校教育、社会教育、スポーツ振興など
人 **3万1538** 円

衛生費

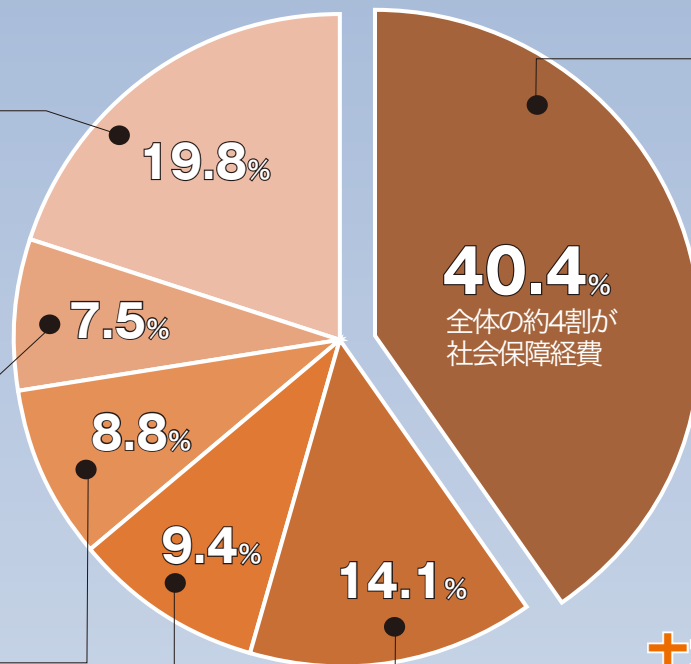
75億6872 万円
健康増進、疾病予防、環境対策、
ごみ処理など
人 **3万3561** 円

土木費

113億6497 万円
道路や公園・河川の整備など
人 **5万394** 円

民生費

326億7400 万円
高齢者や子育てなどの
福祉サービス
人 **14万4880** 円



どんなことに使われているの？

その他

176億9445 万円
維持補修や団体への運営費補助金、
基金への積立金など
人 **7万8460** 円

公債費

60億4569 万円
公共事業などの財源として借り入れた
市債の返済
人 **2万6807** 円

普通建設事業費

77億2195 万円
道路や公園などの公共施設の建設・改良工事など
人 **3万4240** 円

扶助費

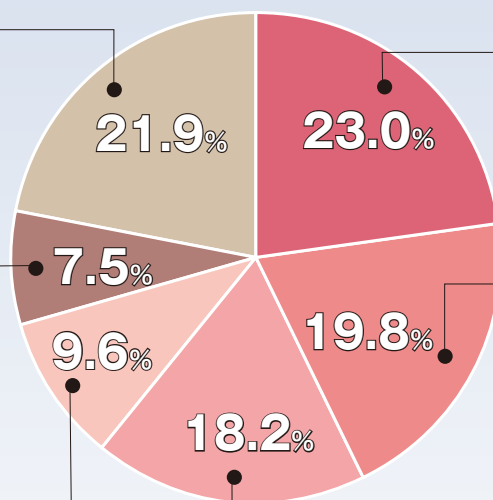
186億1410 万円
子ども手当や生活保護費など
人 **8万2537** 円

人件費

160億1625 万円
職員の給料や議員の報酬など
人 **7万1018** 円

物件費

147億756 万円
公共施設の施設運営費や消耗品など
人 **6万5215** 円



あつぎの 2017 元気進取予算

5つの重点項目別主要事業

1 都市基盤整備・地域経済活性化の推進

新たな産業拠点の創出や道路整備に取り組み、地域経済を活性化します。

目玉事業

本年度にA工区が完成し操業を開始

継続

森の里東土地区画整理関連事業

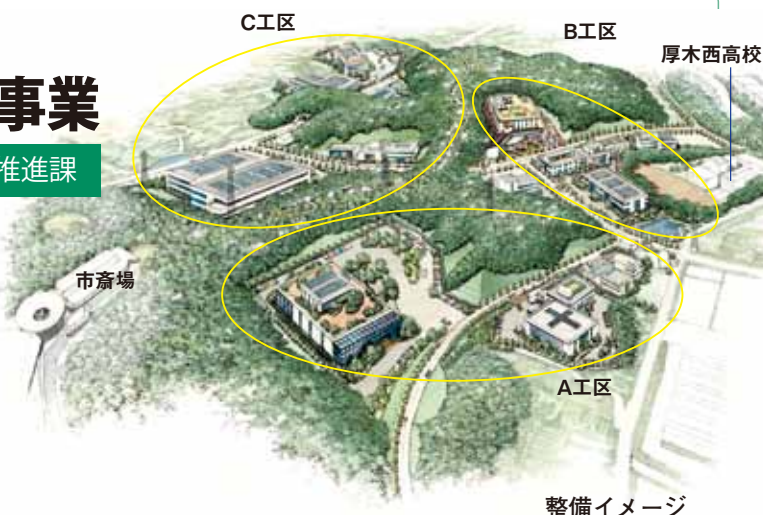
6億3759万円 まちづくり推進課

新たな産業拠点の創出に向け、下古沢・上古沢・愛名・森の里青山地区で、約68%の土地区画整理事業が進められています。平成27年1月の工事着工から2年が経過し、A工区の工事進捗率は約85%に達しました。A工区は、本年度の工事完成と企業の操業開始を予定しています。

市では引き続き権利者でつくる組合を支援し、自然環境に配慮した工事を進めていきます。

【29年度の主な取り組み】

- ・市補助金の交付、公共施設管理者負担金の支出
- ・関連道路整備の実施
- ・関連排水路整備の実施



【整備計画】(予定)

- ・A工区(産業用地 約6% 29年度完成)
- ・B工区(産業用地 約8% 32年度完成)
- ・C工区(産業用地 約12% 35年度完成)

都市機能を集約し利便性の高い地域に

中町第2-2地区周辺整備関連事業

2億470万4千円

市街地整備課ほか

図書館や(仮称)こども未来館を中心とした、新たな集客の核となる複合施設の整備に向け、基本計画を策定します。また、旧保健センターの解体工事を実施します。



本体工事に着手

継続

本厚木駅南口地区市街地再開発事業

7億219万3千円

市街地整備課

魅力ある本厚木駅周辺の顔づくりを目指し、駅南口の市街地再開発事業を進めます。

【面積】約0.8㍍

【整備計画】

- ・再開発ビル
- ・構造 地下2階地上22階建て（鉄筋コンクリート造）
- ・用途 店舗、事務所、住宅（約150戸）、駐車場（約100台）、市営駐輪場（約600台）など
- ・駅前広場 約3460平方㍍を約4270平方㍍に拡充



完成イメージ

道路交通環境のさらなる向上

厚木パーキングエリアスマートインター・街路整備関連事業 9億1204万4千円

道路整備課

地域経済の活性化や交通渋滞の解消を目指し、物流の効率化や都市計画道路の整備などを進めていきます。

厚木パーキングエリア



拡充

スマートインターチェンジ整備事業

平成30年度完成予定 4億7429万4千円

道路整備課

中日本高速道路(株)と協力して、(仮称)厚木パーキングエリアスマートインターチェンジの30年度開通に向けた事業を進めていきます。

継続

街路整備関連事業

平成32年度完成予定 4億3775万円

道路整備課

単年度事業含む

森の里東地区への主要アクセス道路になる、県道63号相模原大磯線の宮地交差点から市道簾谷上古沢線までの1700㍍の供用開始に向けた、工事を実施します。さらに、新東名高速道路(仮称)厚木南インターチェンジへのアクセス機能を高めて交通ネットワークを構築するため、本厚木下津古久線と厚木環状3号線の早期整備を目指します。

自転車の利便性を向上

新規

(仮称)本厚木駅南東側自転車等駐車場整備事業 6691万9千円

交通安全課

旭町にある厚木労働基準監督署跡地を取得して、新たに自転車等駐車場を整備します。

【面積】367平方㍍



完成イメージ

2-1 地方創生の推進

まちの魅力を高め、将来にわたって活力のあるまちづくりを進めます。

目玉事業

空き家を有効活用

新規

空き家等対策推進事業費補助金

1000万円 住宅課

空き家を放置すると、地域住民の生活環境に影響を及ぼします。解体費や取得費に対して補助し、空き家の解体や利活用を進めます。



老朽空き家解体工事補助金

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築され、1年以上空き家である住宅のうち、適正な管理がされず建物の損壊などがある場合に、解体費を補助します。

【補助額】解体費の2分の1（上限50万円）

要耐震改修空き家取得事業補助金

旧耐震基準で建築された空き家を購入し耐震改修して居住した人に、購入費を補助します。

【補助額】取得費500万円以上のものに一律50万円

【補助額の加算】①市外から転入した場合(10万円)②親世帯または子世帯が市内に居住している場合(10万円)



若い世代の発想力を生かして

継続

地方創生推進プロジェクト 関連事業

1200万円

企画政策課

産学公で組織する「地方創生推進プロジェクト」では、20歳代の定住促進・転出抑制と、合計特殊出生率の上昇につながる効果的な事業を展開していきます。

あつぎの魅力創造発信事業

住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりに向けた事業を展開し、あつぎの魅力を全国に発信します。

出会いの場・交流の場創出事業

結婚を望む人の希望を叶えるため、結婚への第一歩である新たな出会いや交流の場を提供する事業を実施します。



市内企業のさらなる発展へ

新規

市内企業等データベース構築事業

800万円

産業振興課

市内の企業などが持つ専門的な技術や分野をデータベース化します。市内企業の発展と、市民や大学生などの定住促進につなげます。

新たな観光客を呼び込む

新規

新たな観光ルート創出事業

100万円

観光振興課

市観光協会や旅行会社と連携し、市内の観光資源を盛り込んだツアー商品を開発。国内旅行者や外国人観光客を呼び込み、地域の活性化につなげます。



2-2 地方創生の推進～児童・生徒の学力向上～

教育環境の向上ときめ細かい指導で、確かな学力を育てます。

タブレット型PCを活用した効果的な授業

拡充

小・中学校ICT化推進事業

9776万1千円

学校施設課

児童・生徒の学力の向上と教育の質の向上を目指し、全ての小・中学校に40台のタブレット型パソコンを導入します。

また、教員が機器を活用した効果的な授業ができるように、研修の充実と支援員の派遣などを実施します。



子どもたちに「確かな学力」を

拡充

学力ステップアップ 支援員派遣事業

7306万5千円

教育指導課

市内の小・中学校に、学力ステップアップ支援員の配置を継続します。一人一人の学力に応じたきめ細かい学習指導を充実させます。

【学力ステップアップ支援員とは】

小・中学校では学習指導を補助し、夏休みに開催されるサマースクールでも先生とともに学習指導を実施します。

地域と力を合わせた学校づくりを推進

拡充

コミュニティ・スクール推進事業

371万3千円

教育総務課

学校・保護者・地域が協力して学校づくりに携わる「コミュニティ・スクール」を本年度から2年間で、市内の小・中学校に設置します。

【導入のメリット】

- ①保護者や地域の方が学校運営に参加することで、地域に開かれた学校づくりを推進
- ②学校が抱える課題を保護者や地域の人と共有
- ③地域全体で学校を支援する体制の構築

情報機器を積極的に活用

拡充

小学校「あつぎ元気塾」実施事業

265万2千円

教育指導課

放課後の教室などを利用して、小学校3年生の児童を対象に国語や算数の復習を中心とした学習を支援します。本年度はタブレット型パソコンを活用した「あつぎICT元気塾」を実施します。



②-3 地方創生の推進 ～保育所・学童保育 待機児童ゼロの実現～

安心して子育てできる環境づくりを進め、子育て環境日本一を目指します。

目玉事業

新規 県内初・全国トップの補助額 保育士奨学金返済助成金

久保子どもの未来応援基金活用事業 **500万円** こども育成課

奨学金を利用して保育士の資格を取得した方に対し、奨学金の返済に掛かった金額の一部を助成します。

【対象】

- ①市内の私立保育施設の常勤保育士(採用後3年未満)
- ②奨学金を利用して保育士資格を取得し、現に奨学金を返済中
- ③市内在住

【内容】

市内の私立保育施設に勤務している期間、奨学金の返済に掛かった費用の一部を支給します(上限20万円/年、最長3年。最大60万円)。



目玉事業

新規 県内初・保育士の定住を促進 保育士転入奨励助成金

久保子どもの未来応援基金活用事業 **100万円** こども育成課

市内の私立保育施設に就職・勤務する、または勤務している保育士に対し、転入費用の一部を助成します。

【対象】

- ①市内の私立保育施設に就職する、または勤務している常勤保育士
- ②市外から市内に転入(転入後3カ月以内)

【内容】

市内に転入するときに掛かった費用のうち、最大10万円を支給します(一律5万円+転入経費として上限5万円)。



1～2歳児の保育施設を整備

新規

幼稚園型認定こども園
整備事業費補助金

6543万2千円

こども育成課

幼稚園型認定こども園2カ所で、新たに1～2歳児の保育施設を整備します。また、防犯設備も充実させ園児の安全対策に取り組みます。



放課後児童クラブの受け入れを拡大

拡充

放課後児童クラブ運営事業

3億2068万2千円

こども育成課

市立放課後児童クラブの定員を増やし、待機児童ゼロを目指します。



新たな保育施設の整備を推進

拡充

民間保育所建設事業費補助金

1億7260万円

保育課

国の補助制度を活用し、認可保育所、小規模保育施設、病児保育施設を整備する法人に補助金を交付します。施設を整備することで、保育の受け入れ定員を300人拡大します。

【認可保育所】

- ・整備数 4施設以内
- ・補助額 9600万円

【小規模保育施設】

- ・整備数 5施設以内
- ・補助額 7200万円

【病児保育施設】

- ・整備数 1施設
- ・補助額 460万円



③ 地域包括ケア社会の実現

誰もが健康で生きがいを持ちながら、元気に暮らせるまちを目指します。

目玉事業

85歳以上の高齢者の外出を支援

新規

高齢者タクシー助成事業

1142万9千円 介護福祉課

バスの利用が困難になると思われる85歳以上の高齢者に対し、タクシー助成券を配布します。

【対象者】85歳以上のみの世帯

【助成金額】4800円(600円の助成券を年間最大8枚)

【乗車時の負担】乗車時の差額は自己負担

【助成対象者数】2300人(見込み)



療育支援のための二つの拠点施設が誕生

拡充

療育支援・児童発達支援事業

1億1149万7千円

福祉総務課

保健福祉センター内に、発達に不安のある子どもの療育相談の場「まめの木」と、障がい児の通所施設「ひよこ園」を開設し、児童・保護者への支援を充実させます。巡回相談や研修会なども実施し、発達障がいへの理解を深めます。



地域包括支援センターのスタッフを増員

拡充

包括的支援事業

介護保険事業特別会計 3億1050万6千円

介護福祉課

地域包括支援センターの人員を1人増やし、増加が見込まれる認知症と高齢者世帯の支援を充実させます。



支え合う地域づくりに

拡充

地区地域福祉推進委員会交付金

2310万円

福祉総務課

市内15地区の地区地域福祉推進委員会への交付金を増額し、地域福祉活動を支援します。

介護職員のキャリアアップを支援

拡充

介護職員キャリアアップ等 支援事業補助金

1000万円

介護福祉課

市内の事業所などで働く介護職員が受講した研修費の補助を充実させ、キャリアアップを支援します。

4 安心・安全の推進

地震や風水害など災害への備えを強化。犯罪や事故を防止する対策にも取り組みます。

通学路などに防犯カメラを設置

拡充

見守りシステム構築事業

2670万2千円

セーフコミュニティくらし安全課

街頭犯罪の未然防止を目的に、児童・生徒の通学路を中心に防犯カメラを設置し、犯罪を寄せ付けない環境を整備します。



プロのスタントマンによる自転車安全教室

新規

スケアード・ストレイト推進事業

120万円

交通安全課

自転車利用者の交通ルールの遵守とマナー向上を目的に、市内の中学校でプロのスタントマンによる自転車安全教室を開催します。



新たな起震車を導入

拡充

震度体験啓発事業

305万7千円

危機管理課

東日本大震災や熊本地震などの揺れを再現できる最新式の起震車を導入し、大きな揺れの体験を通じて、防災意識の向上を目指します。

浸水による被害を軽減

拡充

公共下水道厚木排水区等 浸水対策事業

公共下水道事業特別会計 9億6800万円

下水道施設課

想定を超える局地的集中豪雨などに対応するため、厚木南地区の「あさひ公園」地下に雨水貯留施設を整備します。また、厚木北地区の雨水貯留管の早期完成を目指します。

災害時にドローンを活用

新規

消防活動用ドローン導入事業

163万5千円

警防課



※写真はイメージです

消防隊員が接近困難な災害現場で、上空から迅速かつ効果的に情報収集を行う手段として、ドローンを導入します。

相川分署の機能を充実

新規

相川分署新築事業

7700万円

消防総務課

新東名高速道路など、高規格幹線道路での災害対応や、大規模災害時の消防・防災拠点施設としての機能を充実させます。本年度は、移転に向けて用地を取得し、平成31年度の完成を目指します。



5 東京オリンピック・パラリンピック 開催に向けた環境整備の推進

良質な運動環境を整備し、スポーツ文化の振興を図ります。

子どもたちの夢と希望を育む

拡充

オリンピック・パラリンピック 支援推進事業

2600万円

企画政策課

2020年東京オリンピック・パラリンピックのニュージーランドのホストタウンとして、キャンプの誘致をはじめ、さまざまな交流事業を推進します。交流事業を通じて、市のスポーツ文化や国際交流、観光を振興し、子どもたちの夢と希望を育みます。



冷暖房設備を整備

新規

荻野運動公園体育館空調設備 設置事業(継続費)

1億1280万円

公園緑地課

ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致に向けて、荻野運動公園体育館に冷暖房可能型の空調設備を導入します。



かながわパラスポーツフェスタを誘致

拡充

市民スポーツ活動推進事業

144万8千円

スポーツ推進課

スポーツに触れ合う機会を提供する、「スポーツなじみDAY」などを開催します。また、新たに「かながわパラスポーツフェスタ」を誘致します。





元気あふれるまちを目指して

あつぎ元気プランの着実な推進

5歳児健診をモデル園でスタート

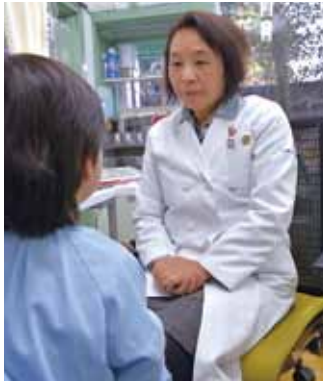
拡充

母子保健衛生事業

1億8856万3千円

健康づくり課

5歳児健康診査を市内幼稚園など9園で実施します。発達や行動などの支援を必要とする子どもたちの療育支援につなげます。



貴重な歴史・文化を後世へ

拡充

(仮称)あつぎ郷土資料館建設事業(継続費)

単年度事業含む

9222万6千円

文化財保護課

郷土文化の新たな活動拠点として、郷土資料館の建設と移転の準備を進めます。



ロボット産業の活性化に向けて

新規

ロボット産業等創出事業補助金

300万円

産業振興課

ロボット関連産業への参入を支援するため、ロボット製品の研究、開発、製造に掛かる費用の一部を補助します。



手のリハビリ用に開発された「パワーアシストハンド」

平成30年度完成予定

拡充

(仮称)戸室ハイツ(2)建設事業(継続費)

2億5746万円

住宅課

低所得者への住宅供給を充実させるため、第2期工事では、新たに70戸の完成を目指します。



電気自動車の普及・促進に

新規

次世代自動車充電インフラ整備促進事業補助金

250万円

産業振興課

市内事業者などが、電気自動車の充電器を新規に設置する場合、設備の購入費や設置工事費の一部を補助します。



未来に向かってあつぎが変わる

厚木市まちづくりマップ°

平成29年度以降の供用開始に向け、現在実施中または実施を予定している事業を紹介します。

※●は事業のおおむねの位置を示しています。

厚木市立病院
29年9月全面オープン予定



(仮称)戸室ハイツ(2) 30年度完成予定



新市街地

森の里東土地区画整理事業

(約68[㌶]、うち産業用地約26[㌶] 組合施行)
A工区=29年度 B工区=32年度
C工区=35年度



都市計画道路
厚木環状3号線
(延長約1700[㍎])
32年度供用開始予定

浸水被害軽減対策事業
雨水貯留施設(あさひ公園内)
(約1万4千立方[㍎])
31年度完成予定

新市街地

南部産業拠点(酒井地区)

土地区画整理事業予定地(約27[㌶])



市道赤坂竹ノ内線
(延長約360[㍎])
29年度開通予定

新東名高速道路

海老名南JCT ~ (仮)厚木南IC
29年度開通予定
(仮)厚木南IC ~ (仮)伊勢原北IC
30年度開通予定
(仮)伊勢原北IC ~ 御殿場JCT
32年度開通予定



(仮称) あつぎ郷土資料館
30年度完成予定



圏央道(さがみ縦貫道路)



新市街地

山際北部地区

土地区画整理事業予定地 (約17㌔²)



新市街地

山際地区

土地区画整理事業予定地 (約22㌔²)

(仮称)厚木パーキングエリア
スマートインターチェンジ
30年度開通予定

都市計画道路
座間荻野線

第II期区間(延長約1170㌔²)
38年度以降開通予定

厚木秦野道路

圏央厚木IC～(仮)秦野西IC
約29.1㌔²
【事業中】
圏央厚木IC～(仮)厚木北IC
3.6㌔²ほか

新ごみ中間処理施設
建設予定地

中町第2-2地区周辺整備事業

複合施設基本計画(28～29年度)
複合施設基本設計(30～31年度)

(仮称)本厚木駅南東側自転車等
駐車場
31年度完成予定

都市計画道路

本厚木下津古久線

(延長約1700㌔²)
32年度開通予定

本厚木駅南口地区
市街地再開発事業
31年度竣工予定

相川分署

31年度完成予定



楽しさいっぱい

EVENT

あつぎのイベント

4月 あつぎ飯山桜まつり



満開の桜の下、飯山白龍太鼓や白龍の舞、飯山温泉芸妓衆によるさくら輿などが繰り広げられます。

4月 かながわグルメフェスタ



県内のご当地グルメが厚木に大集合。箸による投票で、人気ナンバーワンを決めます。

4月 かなキャラ大集合！



県内外からあゆコロちゃんのお友達の個性あふれるご当地キャラクターが大集合します。

5月 緑のまつり



植木や盆栽などの緑、花との触れ合いを楽しむイベント。花や緑がもたらす潤いや安らぎを感じられます。

8月 あつぎ鮎まつり



夏の夜空を彩る大花火大会やダンスコンテスト、鮎のつかみどりなど、毎年多くの人でにぎわいます。

8月 あつぎジャズナイト



ジャズのステージと多彩なフードを楽しむ大人のイベント。夏の夜空の中、音楽と食を同時に満喫できます。

10月 あつぎマラソン



約2000人のランナーが沿道からの大きな声援を受け、秋の厚木路で健脚を競います。

11月 あつぎ国際大道芸



よりすぐりのパフォーマーが厚木に集結。自慢の技を繰り広げ、街中が劇場に生まれ変わります。

通年 厚木市民朝市



市内で採れた新鮮な野菜や加工品などが毎週日曜、文化会館駐車場で販売されています。

